



# P T A新聞 おきなわ

発行  
(一社) 沖縄県 P T A 連合会

〒900-0002  
那覇市曙2-26-27  
T E L (098) 867-3582  
F A X (098) 867-0309

責任者 石川 謙



初日の出 (豊見城市)

撮影：外間隆史

## 新年のご挨拶

沖縄県 P T A 連合会  
会長 石川 謙



新年お明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年六月の社員総会において、第二十三代・一般社団法人沖縄県 P T A 連合会会長に就いて早半年が過ぎました。総会において、今年度目標として「見える P T A 活動を発信し、各単位 P T A において充実した活動につながる」とありますが、本来の仕事も勤め

ながら実施する時間及び県 P T A 従来の活動に追われて進めることができませんでした。今年はじっくりと活動ができますので、P T A 会員の皆様に県内外の P T A 活動の情報を提供していきたいと思えます。

県 P 連の大きな行事には、「小中学校童話・お話・意見発表大会」「P T A 広報紙コンクール」「P T A 研究大会」に加え「スマホおきなわルールづくりシンポジウム」があります。また、今年度からは、「母親委員会」も復活し、お母さん方の意見を反映させて頂きたいと思えます。このような大きな行事を実施できるのは、各単位 P T A が

日頃から活動している事は言うまでもありませんが、各地区における活動は時々メディアを通して見る事ができます。沖縄県内における P T A 活動の一部であり、各単位 P T A においては多くの P T A 活動をしておりますので、今年度の目標に掲げた見える P T A 活動を発信し、各単位 P T A の活動の参考になるように取組んでまいります。

本年も変わらぬご支援とご協力をいただきますことをご祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。





第58回

沖縄県PTA研究大会

宮古大会

「育てよう、挑戦する心 今出来る事から行動しよう」  
 ～すまぬぐくる・命ぶつて～

全体会

記念講演では「子どもと健康」という演題で脳神経外科医の竹井先生からのお話でした。「子どもは大人のうつし鏡であり、子どもは私たち大人を見て学び、子どもが健康で過ごすには周りの大人が健康で幸せかが鍵である」というお話が印象に残りました。大人になつれ固定観念で「これができる」「できない」を勝手に判断し、いつの間にかブレーキをかけてしまっているのではないだろうか。「できる！」



という思いや達成しなくても達成することが目的ではなく「行動に移すことが大事なのでは」という新たな発見もありました。まずは行動に移すこと、それからまた次に進んで色んなことに挑戦して行く大人の姿を子どもたちが見て学んでくれたら、これからの世の中も上向きに過ごせるのではないだろうか。と感じました。また発想法の一つで【マンドラミンキング】もすごく興味深く今後、学校や仕事で活用して行きたいと思いました。アトラクションでは多良間島特有の八月踊りや獅子舞など普段見ることのできない郷土芸能に感動いたしました。意見発表では、狩俣成駿君（北中3年）と友利まといさん（下地中3年）の素晴らしい発表がありました。

（奥間由紀江）

文部科学大臣表彰

◆団体の部

石垣市立川平小中学校PTA

日本PTA全国協議会表彰

◆個人の部

- 玉城 盛栄（伊江村PTA連絡協議会前会長）
- 伊敷 猛（沖縄県PTA連合会元会長）
- 名幸 芳徳（中頭地区PTA連合会元会長）
- 上間 喜仁（八重山地区PTA連合会会長）

◆団体の部

- 本部町立瀬底小学校PTA
- 南城市立知念小学校PTA

九州ブロックPTA協議会表彰

◆個人の部

- 安富祖 勸（金武町立金武中学校PTA）
- 知念 権和（うるま市立伊波中学校PTA）
- 仲村 秀樹（うるま市PTA連合会）
- 大嶺 司（那覇市立古蔵中学校PTA）
- 仲間 佳代子（宮古島市立城辺中学校PTA）
- 上原 健進（石垣市PTA連合会）

◆団体の部

- 名護市立大宮中学校PTA
- 那覇市立さつき小学校PTA

# 第五十八回沖縄県PTA研究大会宮古大会

## 第一分科会

平成二十八年十一月二十六日(土)から宮古島で開催された、第五十八回沖縄県PTA研究大会宮古大会に参加してきました。

二十六日(土)の初日は各分科会の発表で、私は第一分科会に参加させて頂きました。

第一分科会は「PTA活動を活発にするための組織、運営を考えよう」について、豊見城市立豊崎小学校のPTCAと宮古島市立下地中学校PTAの取り組みについて発表があり、両校に共通した点が「地域」を巻き込んだ活動と言う点でした。



「学校、家庭、地域」

の協働による教育活動や教育環境の整備・充実をねらいに活動を行っている事や、特に、とよみ小学校の取り組みの中で学年部と専門部を一つにすることで組織運営がスムーズになった点と地域で開催される「とよみ祭り」に出席し得た収益を記念事業に積み立てていると言う発表が印象的でした。

二十七日(日)に行われた全体会では中学生二名による意見発表や、竹井太先生による記念講演と内容が充実しており大変勉強になりました。

また、表彰では長年PTA活動に貢献された個人、団体と多くの方々に表彰状が贈られる中、第二十七回沖縄県PTA広報紙コンク



多良間島特有の手作りお菓子

## 第三分科会

ル入賞校として、嘉手納小学校のPTA新聞「ふれあい」が優良賞で表彰を受けたことは何よりも嬉しく思います。

これからもPTA活動をを通して子ども達により良い環境を作ってあげられる様にしていきたいと思える宮古大会でした。

参加する機会を与えてくれた事に感謝致します。

嘉手納小学校PTA 副会長 平得永幸

第三分科会では、【家庭教育】をテーマに講演・実践発表されました。講演では教育長の西表さんより、国の施策や沖縄県内における問題点(早寝・早起き・朝ごはん)そして、これからの原因について考察していること等の問題を解決する事を目的とした、県の施策「家なれく運動」や「親の学びあいプログ

ラム」等の活動内容を紹介していました。

最初の実践発表では、名護市立屋部小学校より、小学校における取り組みとして、生活リズム調査を年三回実施し公表することで親に対して意識付けを行う。そうすることによって学校現場における「早寝・早起き・朝ごはん」の指導策が練りやすくなる。また全学年を通して食育の分野に力を注いでおり、五年生では米づくりを一年かけて行い、最後はJA等を通して販売まで行っているということでした。

そのほかでも、夏休み時に校区内の2公民館においての勉強会の開催などを通して、家庭教育の充実に努めている報告でした。

続いて、沖縄市立越来中学校の発表では、近隣小学校や地域との連携の取り組みが濃密である報告がありました。

近隣のコザ小学校や隣接する越来小学校でまとめて歓迎会を行い、それぞれのPTAが会を通じ親睦を図り協力関係を築ける。また、部活動ではバドミントン部が十一連覇という功績を残しており、これらは単なる部活動だけでなく地域の人の支えによってなり得たものであると報告がありました。

分科会において各学校の諸課題に取り組み姿勢が見られたが、各学校によってその問題も地域差があることが感じられました。

高原小学校PTA 島袋直樹

加入してよかった！みんなに勧めよう！  
 保護者の皆様の強い要望から生まれた  
 沖縄県 PTA 連合会推薦の  
**『小・中学生総合保障制度』**  
 (こども総合保険)  
 AIU 保険 Member of AIG = 引受保険会社 =  
 A I U 損害保険株式会社 沖縄支店  
 -保障制度に対してのお問い合わせは-  
 ◆小・中学生総合保障制度事務局◆  
 (あい保険工房内)  
 住所 : 〒901-2126 浦添市宮城 2-24-2  
 TEL : 098-878-0025

# 那覇地区大会審査講評

## （小学校・低学年・男子）

### 高良小学校

#### 1. 内容

- ・ 毎回同じ題材なので、変化をもたせられないか。
- ・ 童話大会なので、テーマ性の強い内容よりは口演童話にふさわしい内容が適切なのではないか。

#### 2. 音声

- ・ 力み過ぎて、張り上げた声になっている。
- ・ 間のとり方、口調、スピードの練習が必要。

#### 3. 態度

- ・ 初めの「礼」は要らないのではないか。
- ・ あて振りが多い。足の動



きをしている児童が多かった。事前にPやTに伝え、しっかりと指導する必要がある。

容だった。

- ・ 学校生活のなかで、子どもたちに考えさせる内容が多かった。
- ・ 方言を入れる等、沖縄の文化や自然を大切にすることが大切だった。

#### 2. 音声

- ・ はっきりとした大きな声で、声の強弱および高低、また、間をしっかりとるなど、巧みな表現法を用いて登場人物たちを上手に表現していた。
- ・ 表現が単調なので、変化を付けて欲しい。
- ・ 高温が聞き取りにくいことと、語尾が上がることも課題である。

## （小学校・低学年・女子）

### 仲西小学校

#### 1. 内容

- ・ 全員が聴く人に感動を与える内容であった。
- ・ 話を聴いてくれる人たちの表情を見ながら動作を交えて進めていく童話で、物語の情景が目に見え、それぞれに表現するた



き取り入れたことで観客を

#### 3. 態度

- ・ 発表者全員が堂々と正面をしっかりと見て、話を効果的に表現するため動作を取り入れたことで観客を



## （小学校・高学年・男子）

### 沢岷小学校

#### 1. 内容

- ・ 身近な出来事から学んだことや感謝の気持ち、また、将来の夢から自分の生き方を考えるなど、高学年としての自分の主張が見事に表現されていた。僅差ではあるが、決め手は、聴き手に

#### 2. 音声

- ・ 声ははっきりしていて、間の使い方や声の強弱をうまく使ってお話をしている子が多く、全体的に良くできていた。
- ・ 欲を言えば、もう少し、語彙を豊かに表現すると、聴き手の心をぐっとつかむことにつながったと思う。

#### 3. 態度

- ・ 演壇に登るときから降りるまでの態度は、どの子どももきちんとしていた。お話の仕方も自然体で熱意が感じられた。
- ・ 残念なことは、大きすぎるジェスチャーがまだまだ見られ、そのための失点があったことと、時間オーバーによる減点が惜しいこと。

#### 2. 音声

- ・ 声ははっきりしていて、間の使い方や声の強弱をうまく使ってお話をしている子が多く、全体的に良くできていた。
- ・ 欲を言えば、もう少し、語彙を豊かに表現すると、聴き手の心をぐっとつかむことにつながったと思う。



## （小学校・高学年・女子）

### 石嶺小学校

#### 1. 内容

- ・ 体験を話題にしている。
- ・ 明るく前向きである。
- ・ 身のまわりのことを自分のこととして、自分の生方につなげている。そのため、聴き手に興味と感動を与えている。

#### 2. 音声

- ・ 声の大きさが皆、適当で良い。
- ・ 明るくはっきりしていた。
- ・ 改善点としては、声の強弱、緩急がもう少しあると良い。
- ・ 同間隔で話しているので、間の使い方工夫を要する。
- ・ ことばのまとまりとしてではなく、○○○が、○○○がと切れると伝わりやすくなる。





**3. 態度**

- ・オーバーな動作もなく、内容に沿ったジェスチャーであった。
- ・挨拶も上手だった。
- ・改善点としては、少しスカーフが短かった子がいた。
- ・立ち方が、少し足を開きすぎの子がいた。
- ・上手（かみて）、下手（しもて）の意識がない話し方の子がいた。

**(中学校・男子)**  
**港川中学校**

**1. 内容**

- ・題材に広がりが出てきて論の展開も大変良かった。
- ・日常生活で出会う様々な出来事や経験を真摯に受け止めて向き合い、考えを整理



理し自らの言葉を見つけて意見文に仕上げている。

- ・言葉が丁寧な紡がれている。
- ・一人一人が経験を通して成長する姿が感じられ、自身の生き方につなげて発表しているところが素晴らしい。

**2. 音声**

- ・音声、発音ともに全員が明瞭で、声のトーン、高低ともに良かった。
- ・ただ、マイクと発表者の距離に工夫が必要だと感じた。

**3. 態度**

- ・全員が原稿を覚えており、堂々と発表していたところ

**3. 態度**

- ・間がとり方、感情のこめ方も良かった。
- ・ただ、視線の動きには工夫が欲しい。

**(中学校・女子)**  
**金城中学校**

が大変素晴らしかった。

- ・「セリフ」の部分があつて、次の音は、間をとる必要はない。
- ・個で終結していて、一般への広がり、深まりが足りない。
- ・難解な語を平易な言葉にした方が良い。
- ・「なので」は言葉として無いので、使わない方が良い。

**2. 音声**

- ・間が無い生徒が3分の2いた。↓相手に合わせた間の取り方が必要。
- ・声の高低で変化をつけようとしているのは間違い。
- ・言葉が速すぎて伝わらない生徒がいた。

**1. 内容**

- ・構成でもつたない生徒がいたのが残念。



**3. 態度**

- ・人数が多すぎるので、中頭地区、那覇地区はせめて一人減が良い。
- ・司会者のシナリオの中に、「代表者氏名を読み上げ、少し間を置き、代表者が登壇する途中で演題を伝える」と付け加えて欲しい。

平成28年度 第67回沖縄県童話・お話・意見発表大会 那覇地区大会 審査結果

|             | 地区    | 学校名  | 学年   | 氏名       | 演題         |
|-------------|-------|------|------|----------|------------|
| <b>最優秀賞</b> | 小低・男子 | 中頭地区 | コザ小  | 1 高江州 應太 | たつの子太郎     |
|             | 小低・女子 | 中頭地区 | 読谷小  | 3 兼謝名 希実 | カナシーと赤おに   |
|             | 小高・男子 | 中頭地区 | コザ小  | 5 親川 琉夢  | ありがとうの花    |
|             | 小高・女子 | 中頭地区 | 普天間小 | 4 仲地 輝   | 志を高く持って    |
|             | 中学・男子 | 那覇地区 | 城北中  | 3 満名 優希  | 僕の1095日    |
|             | 中学・女子 | 那覇地区 | 石嶺中  | 3 下地 旦夏  | 動く・気づく・広がる |

# 木もれ陽 P T A美化作業

学校(教師)と保護者が協力して行う活動のなかでは美化作業が断然好きである。子どもと一緒に学校の敷地内をきれいにしていくな。のび放題になつていている雑草が刈り取られ、みんなの手で片付けられていく様は、ひとつの作品が創られていく過程のようにも感じられる。作業が完了し、地面がすっきりとあらわになつた状態は、散髪した後みたい。自分達の力で成し遂げているという自負が、満足や達成感につながるので、とにかくいい気持ちになれる。子ども達の表情も大抵に満足している。

「近頃の子は鎌を使えない」、「指示しないと動かない」などと愚痴る大人の声も聞こえるが、子ども達はよく頑張っていると思う。普段の教室で見せる顔よりもずっといい表情を見せている。鎌など、道具をうまく操作しないことや指示がないと動けないのは経験が乏しいからだろう。やり方を教え、させてみて、そして褒める。その繰り返しで、大人顔負けの作業人になるに違いない。



嘉手納中学校  
校長 志良堂保夫

ある意味 P T Aの美化作業はとても貴重な行事なのかもしれない。反抗期の中学生は、親と一緒に作業した姿は見えない。子どもは親の背中を見て育つ。であればなおさら、P T A作業は親としての頑張りどころではないかと思う。

# 我が家の子育て

てほし  
いと思っ  
ていま  
す。  
だけではない、車の中  
や他の場所でも色々な  
ことに対して話をする  
様にしていきます。そう  
いった会話の中から本  
人達がどうしたい、ど  
うしたら良いのか、今  
を楽しく今の自分を考  
え、そして未来、将来  
の自分の姿を考え、行  
動できる様になればと  
思っています。

私の家族は妻と子ども三人の五大家族です。妻とは東京の同じ職場で知り合い、間もななく付き合つて三十周年、結婚二十五周年になります。沖繩には様々なる理由があつて、来てから二十年以上になり三人の子ども達にも恵まなれ、今改めて幸せ者かな?と感じています。

長男、次男がまだ小さい時には、私自身厳しくしていたこともありましたが、妻から言われたり、P T A活動に参加し色々な方と知り合いになつていくたびに、子どもの為に何が良いのか、何をやってあげたら良いのかと考えるきっかけを貰い、少しづつ変わってきたと思います。そういつたこともあつたせいか、以前、長男が高校生の時に「父さんは、〇〇(長女)に甘い」と言われたことがありました。その時は長男に説明するのが大変でした。

私も妻も子ども達には自分たちの考えを強要はしません。学業の成績が良ければそれにこしたことはありません。んが、子ども達が興味を持ったこと、一生懸命やっていたこと、将来こうなりたいといったものを、親としてしっかりサポートして、社会に出てもしっかりと生きていける人になつ

我が家では普通のことですが、大切な話や、やっではないけないうこと、社会に出てから大切にやるであろうことなどは、理由を説明しながら話す様にしていて、共に、子ども達との会話を出来る限り多くする様に心掛け、家の中

中頭地区  
P T A連合会

会長 増子啓吉



（第10回）我が校区の文化・歴史遺産紹介

越来グスクは、沖縄市のコザ十字路から北西に200mの石灰岩丘陵上（標高80m前後）に立地していました。古来によると、かつては現在よりも高い山だったといわれており、頂上からは東西の海が見えたといわれています。地元ではギイクグシクとよんでいます。

第一尚氏第六代の王である尚（しょう）泰（たい）久（きゆう）や、第二尚氏第二代の王尚宣（しょうせん）威（い）が、それぞれ即位以前に居城していたことで知られています。また、阿（あ）麻和（まわ）利（り）を討伐した鬼大城も、その功績により居城していたと伝えられています。

これまでの発掘調査により、14世紀〜15世紀後半を中心とする多量の貿易陶磁器などが出土して、当時の越来グスクの活発な活動の様子が分かります。また、掘（ほ）立（た）柱（たてばしら）建物（たてもの）跡（あと）と考えられる柱の穴が発見されていますが、グスク全体を知る手がかりとなる外壁の石積みはまだ確認されていません。

（沖縄市立郷土博物館担当者）



【母親委員会】母親委員会を再起させるにあたって

沖縄県PTA連合会 副会長 長山勝美



昨年六月の総会において承認のありました「母親委員会設置」について、皆様のご理解ご協力のうえ、第二回目の会議まで終えることが出来感謝致します。

県内6地区の母親代表を集め、理事会との連携を保ちつつ健全な子どもの育成を目指し、母親自身の教養を高める研究と活動を行うことを目指しております。私が副会長へ就任した一年目には、九P協（九州PTA協議会）母親委員会との連携から県PTA連合会内でも母親委員会の必要性をものすごく感じました。二年目には、母親委員会のあり方や再起について三役をはじめ理事の皆様にもご理解を頂けるよう活動してまいりました。そして、二十八年度は、やっと活動が開始できる事に感動が湧き上がり、初回の会議では涙が溢れましたが、県内6地区の母親代表との繋がりが出来たことを確信いたしました。

今後の母親委員会での会議の内容や、研修会で学んだ事を各地区に持ち帰って活用してもらえると幸いに思います。



PTA会長さんへ

安全委員会より

次年度（平成29年度）の安全会共済加入の手続きが始まります。

※ご案内、申請書類等は3月上旬に送付予定

- ・共済契約申込書（様式1）
  - ・共済金の納入
  - ・名簿等必要書類の提出
- ・3月31日必着
- ・4月～6月30日厳守

※上記について提出期限が過ぎた場合、4月1日から共済掛金が払い込まれた日までの間に発生した事故に対しての共済金はお支払い出来ません。（遡及保険—保険法第68条）



一般社団法人  
沖縄県PTA連合会  
安全委員会  
〒900-0002  
那覇市曙2-26-27  
TEL : 098-867-8645  
FAX : 098-867-0309



## 特集3号連載 (中)

### 保護者が知るべき、子どもたちのスマホの「出会い」 ネットいじめパトロール隊 高宮城 修

講演会等で県内の多数の小中高校を訪問しているが、相談件数が増加傾向にあるのがスマホ・ネットの「出会い」である。

私が受けた相談事例から、子どもたちのスマホでの「出会い」の現状を知っていただきたい。

(プライバシー配慮に配慮し、一部内容を変更)

小学6年の女兒A子、「LINE友だちの大阪市在住の女子高生K子(自称)から、住所を教えてください」と言われています。教えても大丈夫ですか?という相談があった。私はA子に経緯を尋ねた。A子の家庭はLINEで同級生以外の知らない人と繋がらないように、保護者がフィルタリング設定、LINEのプライバシー管理設定等でトラブルを防止を行うスマホの管理意識が高い家庭だ。ではなぜ、女兒A子は女子高校生と繋がったのか。実は同じクラスにB子という友だちがいて、大好きなアイドルグループのLINEトークで盛り上がっていた。そんな時、B子がアイドルグループの話題で大阪の女子高生と意気投合し、LINEで交流を始めた。B子は、その女子高校生から同級生の女兒を紹介するよに頼まれ、クラスのA子を含む女兒数名と女子高生(自称)数名によるLINEグループが生まれ、女子高校生グループとの交流が始まっ

た。その中の女子高生K子から「沖縄ではアイドルグループのグッズが買えないと思うので、私が買ってA子にプレゼントしたいので、住所を教えてください」というコメントがA子に入った、戸惑ったA子は母親に相談した。でも、母親から頭ごなしに女子高校生K子の人格を否定されてしまい、親友を貶されたA子は素直になれずに、どう対応して良いのか心の整理がつかずに、私に相談したのが事の経緯だ。

この事例では、注文していない高額商品が送りつけられたり、女子高生になりすましていた男性が住所を頼りに尋ねてきて面談してしまい性的暴行を受けたり、吐露した相談を拡散すると脅されて裸の写真送信を強要されるなどの犯罪に巻き込まれたケースがある。犯罪者は子どもたちの趣味嗜好に合わせることで、スマホで頻繁なコミュニケーションをとり、子どもからの信頼と愛情を得ると同時に、子どもの判断能力を奪い取るための心理を熟知している。

この事例への対応には二つポイントがある。一つは、ネットの友だちを「貶さない」「犯罪者と決めつけない」ことを心がけること。二つ目は、第三者が解決に当たることである。今回、私はA子にスマホの交流で発生

したトラブルや犯罪事例を話した後に、「K子さんは、いい人かもしれないね。でも、なりすましかもしれない。それを確認する方法があるよ」と伝え、私は法務省人権擁護委員も務めているので、A子に「法務省の人権擁護委員に住所のことを相談したら、会ったことのない人には住所を教えないようにと言われた」とK子にコメントするように助言した。

このコメントにK子から返信がないこない場合は、犯罪目的の可能性が高い。

数日後、「ゴメンな、迷惑かけたな」とのK子からのコメントがあったそうだ。A子の表情も安心した様子だった。

危険なのは保護者が、ネットの交際相手に「未成年者と付き合うのは犯罪だ。警察に言うぞ」とコメントして、相手が逆上してネットに誹謗中傷や脅しなどの仕返しをした例がある。子どもから相談を受けたら同意を得て、発生段階の相談は青少年センターの青少年指導員や法務省人権擁護委員などへの相談することだ。もちろん、私への相談でも構わない。ネットの世界では倫理観や道徳観を説いても相手には通じない。法律に則った毅然とした対応を心がけることである。(次号へ続く)

## 編集後記

今年初めて県P広報紙の制作に携われることができました！広報委員暦10年にして念願の県P広報紙作成です。張り切ってはじめてものの仕事や家庭に追われ・・・県ということもあり情報量が豊富にあり編集に時間がかかってしまいました。反省です。。がしかし、感無量～の制作時間。時間も忘れるほどPCの前に座ってました(笑)PTA活動はできることから～と学びPTA暦11年。子どもたちの為にそして自分自身の為に、たくさんの皆さんに刺激をもらいながら今後も活動して行きたいと思えます♪

(奥間 由紀江)

広報委員； 外間 隆史(島尻) 末吉 建作(那覇) 新垣 早苗(中頭) 奥間由紀江(中頭)

通信委員：仲間 里枝(国頭) 鬚川 美穂(八重山) 伊波 孝子(宮古)